

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	地理歴史	科目	地理A	単位数	2	学年	1	コース	教養フロンティア 健康スポーツ
								必修・選択	必修
使用教材	教科書	帝国書院「高等学校 新地理A」 帝国書院「新詳高等地図」							
	副教材	東京法令出版「フォトグラフィア地理図説」 二宮書店「アトラスワークブック8」							

学習目標

世界の結びつきが強まっている現代世界では、異文化に目を向け、その背景にどのような価値観があるのかを知ることが大切である。地理Aでは、世界各地に暮らす人々の生活・文化や現代世界の地球的課題を学習する中で、多様な価値観を知り、異文化を理解する目を養う。

学習方法

- ・授業プリントや板書ノートを活用した基本的知識の取得。
- ・地図や資料、統計図から地理的情報を読み取り、多面的・多角的に考察する資料読解。
- ・既存知識や資料活用スキルを活かしたレポート作成。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。	
①関心・意欲・態度	・地理的諸事象や現代的諸課題に興味・関心を抱き、それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ、結びつけることができる。 ・地理学習で得た知識・技能・態度を社会生活、ないしは現代的諸課題の解決に生かすことができる。
②思考・判断・表現	・地図化したことを他の地理的諸事象との関わりから分析・考察・解釈し、そこから地理的概念や規則性（地理の見方・考え方）を見出すことができる。 ・地図化することで得た概念や規則性をもとに、現代世界が抱える諸課題の現状を発見することができる。
③技能	・学習に必要とされる様々な資料を収集し、それらを的確に取捨選択し、調査・分析することができる。 ・文献や統計の分析、野外における諸事象の観察から、地理情報を見出し、それを的確に地図化することができる。
④知識・理解	・地理的諸事象や地域性、現代的諸課題の分析・考察に必要とされる基礎的知識（用語・地名など）や基本的概念（空間・環境、地域）を身に付けている。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
授業自己評価	◎				
ワークシート		○	◎		
レポート	○	◎	○		
小テスト		○	○	◎	単元終了時
定期考査		○	○	◎	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

- ・毎時間の学習の目的を理解し、これまでに学習してきた内容とどのように関連するの整理してみることを意識して取り組むこと。
- ・常に世界の情勢に関心に向け、最新のニュースや出来事に関して様々なメディアを通して情報を収集しておくことをおすすめします。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	1章 地球儀や地図からとらえる現代社会 1節 地球上の位置 2節 グローバル化が進む世界 2章 人間生活を取り巻く環境 1節 人々の生活と地形 2節 人々の生活と気候 3節 人々の生活と産業・文化	自然環境と社会環境の多様さは、私たち人間の生活にどのような影響を与え、それにより多様な産業や文化がどのように展開しているのか、要因を捉えながら考察していく。	【評価方法】 単元終了後に行う自己評価、小テスト 学習シート レポート 定期考査
2 学期 30単位時間	3章 世界の諸地域の生活・文化 1節 中国の生活・文化 2節 韓国の生活・文化 3節 東南アジアの生活・文化 4節 南アジアの生活・文化 5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化 7節 ヨーロッパの生活・文化 8節 ロシアの生活・文化 9節 アングロアメリカの生活・文化 10節 ラテンアメリカの生活・文化 11節 オーストラリアの生活・文化	自然環境や社会環境と人々の生活とのかかわりが、世界各地の地域においてどのように展開し、地域性が生じているのか、資料の読み取りから考察していく。	
3 学期 18単位時間	4章 地気球的課題と私たち 1節 複雑にからみ合う地球的課題 2節 世界の環境問題 3節 世界の資源・エネルギー問題 4節 世界の人口問題 5節 世界の食料問題 6節 世界の都市・居住問題	現代世界に生じている諸課題について、それらの要因などを考察していくとともに、その対策や持続可能な社会の実現について考えていく。	